2022 年度第 2 回理事会報告

第 2 回理事会は、2022 年 9 月 18 日(日)13:30 から Zoom によるオンライン会議で開催されました。出席者は、浦野正樹会長、増田聡、松村茂、熊田俊郎、大矢根淳、西野淑美、磯部友彦、佐藤彰男、山崎健、平篤志、川瀬正樹、山下宗利、森傑、齊藤綾美、土居洋平、平井太郎、大塚俊幸、佐野光彦、川田力、石川雄一の各理事です。

議事の概要は次の通りです。

■議題 1　2021 年度事業報告、決算の取り扱いについて

会計監査が終了した後 10 月の理事会で事業報告・決算報告の理事会承認を行うことになりました。

■議題 2　2022 年度事業計画、予算の取り扱いについて

2022 年度事業計画・予算はすでに理事会承認済みなので、10 月理事会で総会資料として確認することとなりました。

■議題 3　学会賞の選考

学会賞について次の通り決定しました。

◎竹中克行、2021 年、『地中海都市－人と都市のコミュニケーション』東京大学出版会

を選考委員会の結論通り、日本都市学会賞(奥井記念賞)とすることを決定しました。

ついで、

◎Kubo,Tomoko,2020,Divided Tokyo: Disparities in Living Conditions in the City Center and the Shrinking Suburbs, Springer

を選考委員会の結論通り、日本都市学会特別賞(外国語著作賞)とすることを決定しました。

ついで

◎中嶋紀世生・増田聡・中村哲也、「地域づくりへの参画とその関心度―宮城県大崎市岩出山地域における住民アンケートからの接近」『日本都市学会年報 53 号』

を選考委員会の結論通り、同論文の第一著者である中嶋紀世生氏に日本都市学会論文賞を授与することを決定しました。

■議題 4　年報事務局報告

年報 55 号の発刊予定と 56 号の編集方針について報告がありました。

■議題 5　論文審査事務局報告(中四国)

2022～2023 年度の論文審査委員が決まったことが報告されました。委員は、阿部亮吾（経

済地理・中部)、梶田佳孝（都市交通計画・九州)、田中晃代（都市計画・近畿)、野々山和宏（都市経済・東北)、松橋達矢（都市社会・関東)、山本匡毅（経済地理・関東)、和田真理子（都市地理・近畿）の方々です。今後委員長、副委員長を決めてゆきます。また審査日程について報告がありました。

■議題 6　第 69 回大会について

中部都市学会から、第 69 回大会について説明がありました。また懇親会開催の有無について 10 月上旬には結論を出して通知することなどが報告されました。

■議題 7　第 70 回大会について

関東都市学会から、2023 年の第 70 回大会(小田原市)の概要について説明がありました。

■議題 8　会長候補者の選考

理事による会長候補者選挙を本年 8 月 22 日発送、8 月 31 日締切りの郵便投票で行った結果、山崎健会員(近畿)が第 1 回投票で過半数の票を得たことから、同会員を 2023-24 年度日本都市学会会長候補者として本年度総会に提案することとしました。

■議題 9　監事の選考について

これまでの慣例から、1 期目の任期中である松山明監事(中部)に再任をお願いし、もう 1 名を東北都市学会から推薦していただき、総会に提案することとなりました。

■議題 10　その他

(1) 本日の出欠状況について報告がありました。
(2) 次回理事会は名古屋での対面の理事会になること、論文投稿期限について規程との関係を再検討し、年度内に調整して理事会に諮ることの報告がなされました。
(3) 国立国会図書館から大会発表要旨集の過去分を収集したいとの連絡があったことが報告されました。

以上